教科	国語	科目	国語演習(入門)	単位数	2				
対象学年•組	2学年選択								
教科担任		佐久間							
教科書 ・ 副教材	国語必携ライトパーフェクト演習	「尚文出版」							

1. 目標

- ① 国語科として将来を見据え「書く力」と「漢字の基礎学力」を習得し、就職や進学に活用できる能力と態度を育てる。
- ② 面接等の対策学習も通して、生徒の第一志望とする就職、進学先に内定・合格できるようにする。

2. 学習内容と学習上の留意点

			1				
学期	(************************************			予定時数			
	4	・漢字の読み書き、ことわざ・言葉に変える	・絵を言葉で説明し、わかりやすい表現や伝え方を 工夫する。・他者の立場を考えて、表現する姿勢を身につける。	4			
1	5	・漢字の読み書き、ことわざ・原稿用紙の使い方、作文	・テーマをもとに作文を書き、原稿用紙の使い方について、 自身が正確な知識を持ち、実践できているかを確認する。	8			
· 学 期			・聞き手の共感・理解・納得を得るために、 内容や表現方法に様々な工夫があることを知る。	12			
	7	・スピーチ・プレゼンテーション	・プレゼンテーションで使用する資料をPowerPointで作成する。	12			
		1学	期予定授業時数	24			
	9	・漢字の読み書き、ことわざ ・·ビブリオバトル	・本の魅力を自分の言葉で表現する。 ・相互の発表を聞き、評価する。	8			
2	10	・漢字の読み書き、ことわざ・文章表現の基礎	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・便せんの選び方や、宛先の書き方など、 手紙を送る際の基本的な知識を理解する。	8			
· 学 期	11	・漢字の読み書き、ことわざ ・敬語表現	・敬語表現について学び、これから必要な一般常識を身に付けさせる。	8			
	12	・漢字の読み書き、ことわざ・書き言葉と話し言葉	・漢字の読み書きやことわざを学び、語彙を豊かにする。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解し、 段落構成を意識させた記入法を指導する。	4			
		2学:	期予定授業時数	28			
	1	・漢字の読み書き、ことわざ・面接練習	・発声練習や所作、しゃべり方等を実践練習を通して、 練習を行う。	6			
3 学	2 一般常識問題、就職試験対応		・自分の希望する進路に合わせたテーマ・課題に従って、 具体的に記述練習することで就職試験に備えた力を	12			
期	3	問題、小論文指導、	兵体的に記述称目することで が戦乱歌に開えた力で 身につけさせる。	12			
		3学;	—————————————————————————————————————	18			
年間授業時数合計							

3. 評価の観点及び方法

- (1)定期考査
- (2)授業態度 … ① 発言 ② 参加 ③ 出席状況
- (3)提出物
- (4) 小テスト

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 社会・公民 科目 現代の社会

単位数: 2 単位 教 科: 社会・公民 科 目: 現代の社会

選択科目 対象学年組:第 2 学年

全組・青柳 将也

(高等学校 公共 【第一学習社】 使用教科書:

教科 社会・公民

の日標: 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育成することを目指す。 【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】 現代社会が抱える諸課題について主体的に学び、考え、自らのキャリアに生かそうとする姿勢を育成することを目

科目 現代の社会 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して洒養される、現代社会に生きる公共国と立て自覚や、公共国を受し、生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
	A 持続可能な社会づくりの主体となる私 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に収集し、そのニュースを通し て社会課題を見出だして考察した結果や自らの考 えを、積極的に発表・説明することができるよう にする。	際社会の形成へ 主体的に参画し、共に生きる社会を築くとい コュースを通し ○ニュースを読む、活用す 結果や自らの考 る、 に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性 などを						
	B 持続可能な社会づくりの主体となる私 【思考力、判断力、表現力等】 自ら収集したニュースについて内容や考察を発表 し、生徒間で共有する。	・一人1台端末の活用○ニュースを読む、活用するる、考察する、共有する	(思考力) ニュースの内容について深堀りし、教員からの問いかけについて考える。 ○ニュースを読む、活用す (判断力) ニュースの選択や自らの考え方などについて適切に判断し発表へとつなげる。		0			
3	C 経済的な主体となる私たち 【思考力、判断力、表現力等】 を通して、社会における経済活動の現状や自分の 行動選択について考える。	・一人1台端末の活用 ○視聴覚教材を活用したアクティブラーニング	【思考力、判断力、表現力等】 (思考力) 社会の出来事や経済状況を考え、自分の行動選択に 生かす (表現力) 教材を通じて、考えたことを自分の言葉で表現する		0		10	
	D 公共的な空間における基本的原理 法的な主体となる私たち 政治的な主体となる私たち 経済的な主体となる私たち 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ニュースの内容などを踏まえ、知識を補完できる よう授業を行う。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人1台端末の活用 等 ○生命の尊厳と平等 ○社会への参画 ○基本的人権が保障されるまで ○民主政治の基本的原理 ○法の支配と人の支配 ○自由と責任、権利と義務 ○世界の政治体制	【知識・技能】 社会を生きていくうえで必要となる基礎知識を身につける。	0			22	
				0	0		3	
							小計 70	

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学A

教 科: 数学 科 目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年

教科担当者: 小山

使用教科書: (Standard 数学A·東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学A

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質・場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈した	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の 性質を見出し論理的に考察する力、不確実な事 象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の 起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	場合の数と確率 ・場合の数を求めることができる。 ・順列の意味を理解する。順列の計算をすることができる。 ・組合せの意味を理解する。組合せの考えを組分け等に応用することができる。 ・いろいろな確率を求めることができる。	指導事項教材	【知識及び技能】 ・数え上げの原理について理解している ・順列及び組合せの意味を理解している ・順列及び組合を基本的な法則についての理解している ・確率の意味や基本的な法則についての理解している 【思考力・判断力・表現力】 ・場合の数を求める方法を多面的に考察することができる ・確率を求める方法を多面的に考察することができる ・確率を求める方法を多面的に考察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を場合の数と確率の考決に活用した り、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている	0	0	0	18
	定期考査			0	0		
	場合の数と確率 ・いろいろな確率を求めることがで きる。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識及び技能】 ・独立な試行の意味を理解している ・条件付き確率の意味を理解している ・集中付き確率の意味を理解している 【思考力・判断力・表現力】 ・確率をおめる方法を多面的に考察することができる ・事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を場合を認識し、問題解決に活用したり、数学的論拠に基づき判断したりしている。・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている	0	0	0	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学期	図形の性質 ・比を用いて線分の長さを求めることができる。 ・三角形の外心・内心・重心について理解する。 ・いろいろな辺の長さや比を求めることができる。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解する 【思考力・判断力・表現力】 ・図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出し、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したりして外いる・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている				14
	定期考査			0	0		
3 学期	図形の性質・円に内接する四角形の定理と四角形が円に内接する四角形の定理について理解して、・方での定理について理解する。・・方でのにで理してのなどでで、のでででで、のででで、のでででで、のででで、のででで、のででで、ので	· 指導事項 · 教材	【知識及び技能】 ・円に関する基本的な性質について理解する・空間図形に関する基本的な性質について理解する・密する 【思考力・判断力・表現力】 ・図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着解し、の世質を見出し、そりすることができる・図形の性質として統合的・発展的に考察することができる 【主体を的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形し、問題解決に活用したりして考察するよさを認識したき判断しようとして考察を深めたり間題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている	0	0	0	14
	定期考查			0	0		合計 58

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学B 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位

教 科: 数学

対象学年組:第 2 学年

教科担当者: 吉田

使用教科書: (Standard 数学B・東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学B

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列・統計的な分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に みたり目的に応じて適切に変形しし、図形の構成の性質 を計量について論理的に考察し表現して考 数関係に着目し、図形の構成に表現してその 数関係に着目し、事象を的確に表現してその 数関係に着目し、適大の事象などがを でした。 で、データの数にで、データの数にで、データの数にで、 で、データの数にで、 で、データの数にで、 で、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期		 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	【知識及び技能】 ・基本的な教列の概念について理解していること・等差数列、等比数列、概念について理解していること・等差数列、等比数列、階差数列などの種類を区別し、それぞれの性質を理解していること・数列の一般項、漸化式、和の公式を理解していること・数列の問題を解くための基本的な手法を身につけていること・数列の問題を解くために必要な情報を正確に把握し、必要な計算を適切に行えること・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を考えていること・自分の考えでいること・自分の考えでいること・自分の考えでいること・自分の考えでいること・自分の考えでいること・自分の表えでいること・自分の表えでいること・複なを正確に取り組む態度】 ・数学Bの数列に対する興味関心を持ち、授業や課外活動で主体的に学び取ろうとする学びに向かう力を持っていることとでいることを記述を持ち、では、対策を表していることを表していることを表していることを表していること・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間性を高めていこうとする志向性を持っていること・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間	0	0	0	20
	定期考査			0	0		2
2 学期	数列 基本的な数列についての知識を身に付け、処理の方法を学ぶ。	 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識及び技能】 ・基本的な数列の概念について理解していること・等差数列、等比数列、階差数列などの種を区別し、それぞれの性質を理解していること・数列の一般項、漸化式、和の公式を理解していること・数列の問題を解くための基本的な手法を身につけていること・数列の問題を解くために必要な情報を正確に把握し、必要な計算を適切に行えること・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を身につけていること・問題解決に必要な仮説を立て、それを検証する思考力を身につけていること・自分の考えを正確に言語化し、相手に伝える表現力を持っていること 【主体的に取り組む態度】 ・数学Bの数列に対する興味関心を持ち、授業や課外活動で主体的に学び取ろうとする学びに向かう力を持っていること ・問題に直面しても諦めずに解決するための粘り強さを持っていること・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間性を高めていこうとする志向性を持っていること・自己成長や他者への貢献を目指し、自己の人間	0	0	0	20
	定期考査			0	0		2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3学期	·	・指導事項・教材・一人 1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・基本的な統計的概念について正しく理解していること。 ・標本データの集計や要約統計量を計算できること。 ・機本データの集計や要約統計量を計算できること・ ・母集団についての仮説を立て、適切な検定を手軽視し、検定を行うことができめな手と。 ・回帰分析などの応用的な手と。 ・施計ソフトウェアを使いこなし、データの分析や可視化ができること。 【思考力・判断力・表現力】 ・問題解決のために論理的に考えることができることができることができることができることができることができることができるととができる方針できることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることができることででは関心に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、ことを・・データや情報を適切に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、他者の意見にも敬意や情報を適切に表現し、の法書はないでは、一定にも敬意とない、統計的な手法を使って社会問題について考え、解決に向けた提言を行うことができること。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		合計 58

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 科目 書道Ⅱ 芸術

単位数: 2 単位 教 科: 芸術 科 目: 書道Ⅱ

対象学年組:第 2 学年 A 組~ G 組

使用教科書: 書道Ⅱ (東京書籍)

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 書道 I の基本をふまえ、さらに芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 書道 I の基本をふまえ、さらに創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生気にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を

【学びに向かう力、人間性等】 ^{生涯に} _{培う。}

科目 書道Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化	
		め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	3		表現	<u> </u>						配	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	漢仮	漢	仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
1 学期	【知識と関係とは、 実生を と 法る と 法る のか。	· 指導事項 · 教材	0	0	0		【知識・技能】 ・説明を聞き、理解し、集中して取り組みを表現することが理解できまで、の組み、作品を仕上げ書の日筆法を理解し、特徴をとらえ、表現することがで表現】・出たのとがで表現】・出たのできている。というできている。というできている。というできている。というできているのできているのできているのできているのできなができているのできなができているのできなができない。というでは、提出できない。というでは、提出できない。というでは、提出できない。というでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっとのでは、はいっというのでは、はいっというのは、はいっというのは、はいっというない。というないのは、はいっというない。はいっというない。はいっというない。はいっというない。はいいる。	0	0	0	20
2 学期		 指導事項 教材 	0	0	0		【知識・技能】 ・各課題説明を理解し、集中して作品に取り ・本材更は石材に文字を刻り、刀法及び文字が十分に文字を刻り、刀法及び文字が十分に改調和良く表現されている。 ・一年生で学習識を深め十分に表現でに知識を深め十分に表現でに知識を深め十分に表現でに知識を不動を理解しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	0	0	0	35

C仮知器関語を表表を対して、		000	【知識・技能】 ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立と変遷について理解にこれできり、第経をするにととないなの用筆法を学とが、「人枠内にバランスよくできれている。とのまとのまというとできれている。というとでも、というとでは、というとのとは、というとのとは、というというというというというというというというというというというというというと		0	0	15 合計
----------------	--	-----	---	--	---	---	-------

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ 芸術 科 目: 美術Ⅱ 単位数: 2 単位

 教 科: 芸術
 科 目: 美術Ⅱ

 対象学年組:第 2 学年 A 組~ G 組

教科担当者: (古川 仁史)

使用教科書: (美術Ⅱ(光村図書出版著))

教科 芸術 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫	術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に	め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造し

			表		ļ						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵·彫	デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
1学期	【知識及び技能】 ①「美の秩序 構成の基本」各項目において構成を理解し、的確な表現が出来ている。 ②「混色の学習」的確な混色、筆によるていねいな塗りが出来ている。。 ③ポスター制作において、説明さった大内容をよく理解し、主題に沿った内容を的確に生かしたアイデアスケッチから着彩、完成まで描くことが出来る。	成 ・資料集め、画面構成、文字レイ					【知識及び技能】 ①課題説明をよく理解し、表現方法を工夫して、創造的に描くことが出来る。 ②課題説明をだいたい理解し、表現方法を概ね描くことが出来た。 ③課題説明を理解しておらず、表現方法の工夫も考えず、創造的にも描くことが出来なかった。	0			
	【思考力、判断力、表現力等】明された制作において、無理力・説明された制作において、工程通りすることが出来る。②ボスター制作におりた「主題」を考え、そター制題に沿った、「文字と絵の配置」ととが出来いたが、「主統の構る。のボスシー制ですとと表現する。当には、「主統の構る。のボスシーに「文字と絵の明度のは、「大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	・乱ビ、いち感、事の反いがら、ぬりを考える					【思考力、判断力、表現力等】 ①ポスター制作において、説明された制作工程 を理解し、工程を理解し、工程 表現することが出来る。 ②説明された課題の制作工程を理解し、工程通 りに主題を考え、それを生かして制作すること が出来ている。 ③説明された課題の制作工程を理解しておら ず、工程通りに主題及び、それを生かして制作 することも出来ていない。		0		20
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組も うとしている。 ②授業全般、教員の説明をよく関 き、集中して、意欲的に制作に取り 組もうとしている。						【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも 楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②美術への興味、関心が少しあり、課題では概 ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ③美術への興味、関心がなく、ほとんどの課題 で、集中して制作している様子がみられない。			0	
	【知識及び技能】 ①「モダンテクニック」各項目において構成を理解し、的確な表現が出来ている。 ②各課題で的確な技法表現が出来ている。	様々な技法・モダンテクニック					【知識及び技能】 ①課題説明をよく聞き、「木の特性」、「鏡の配置」を理解し、アイデアスケッチを大体描くことが出来る。 ことが出来る。 ③課題内容を概ね理解し、大体着彩することが出来る。	0			
2 学	【思考力、判断力、表現力等】 ①木彫課題では、課題説明をよく聞き、制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを生かして制作することが出来る。 ②木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく関き、「鏡の配置」を理解して、構成することが出来る。						【思考力、判断力、表現力等】 ①木彫課題では、課題説明をよく聞き、制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを生かして制作することが出来る。 ②木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「鏡の配置」を理解して、構成することが出来る。		0		22
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも素しんで制作に取り組も うとしている。 ②授業全般、教員の説明をよく聞き、集中して、意欲的に制作に取り 組もうとしている。						【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概 ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明を概ね聞き、時間内大 体集中して、制作に取り組んでいた。				

					0	
ļ				<u></u>		

	【知識及び技能】 ①彫金制作課題「動植物」では、課題説明をよく聞き、「銅の金属特性」、「人体と植物の特性」、くことが出来る。 ②彫金制作課題では、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②彫金制作課題では、アイデアスケッチに基づいて、的確に金属銅の特性を生かして作成出来た。 ③彫金制作課題では、課題説明をよく聞き、粘土による的確な肉付けと着彩が出来た。	る。 ・制作工程について理解する。 ・各制作工程で使用する用具・材料を理解する。		【知識及び技能】 ①課題説明をよく聞き、「彫金制作の決まり」、「動植物の特性」、「プロポーション」を理解し、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②彫金制作課題では、アイデアスケッチに基づいて、正確に心材を作成出来た。 ③フィギア制作課題では、課題説明をよく聞き、粘土による的確な肉付けと着彩が出来た。	0			14
学期	【思考力、判断力、表現力等】 ①彫金制作課題では、課題説明をよ 彫念制作課題では、課題説明をよ 、ア イデアスケッチから完成まで考え。 計画的に制作することが出来た。 ②彫金制作課題では、他にない独自 の表現で制作することが出来た。			【思考力、判断力、表現力等】 ①彫金制作課題では、課題説明をよく聞き、制作工程全般を理解し、アイデアスケッチから完成まで考え。計画的に制作することが出来た。 ②彫金制作課題では、他にない独自の表現で制作することが出来た。		0		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組も うとしている。 ②授業全般、教員の説明を概ね聞き、時間内大体集中して、制作に取り組んでいた。			【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概 ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明書かず、集中せず、意 欲もなく制作していた。			0	合 計 56

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 外国語 英語演習I 科目

科 目: 英語演習 I 単位数: 2 単位 教 科: 2

対象学年組:第 2 学年 教科担当者: 友金 藍子

使用教科書: (プレップイングリッシュリーディング(旺文社)

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知 【知識及び技能】り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

科	国 英語演習 I	の目標:				ht- =		F20-0, -L) ~ 1	L &*-			
解しある	国知識及び技能】 間の5領域を伸ばしていくうえで必要な文法 、かつ必要な語彙を十分に身につけている らトピックについて英文及びパワーポイント 、プレゼンテーションができる能力を養き	る。また、 ら適切なものを選び組み合わなどを使 題材や指示に従って、まとま	学 / つせで きりの	しだり て単り のある	文法 社	事項作る	や英 能力	し、また がた文章を書くなど 人と関われ	うに	意		
					領域	ŧ						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話「や」	話「発」	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1	【知識及び技能】 英語の文の現在完了形を理解し、 実際に読んだり書いたり話したりす ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したし動詞、一般動詞を用い、 知っている単語をあてはめて実際に 質問したり答えたり会話を続けるこ とができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなな働する と関わり合う、主体的かつ協働する 姿勢が見られる。	Lesson 1What did your dog eat? ・現在完了形を理解する。	0	0	0		0	【知識及び技能】 英語の文の現在完了を理解し、実際に読 んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した現在完了を用い、知っている単語 をあてはめて実際に質問したり答えたり会 話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主 体的かつ協働しようとしている。	0	0	0	8
- 学期	際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と聴しながら文章を書くなど、人きかかつ協働する姿勢が見られる。	Lesson2 Teenagers today Lesson 3The latest fashion ・複数形の作り方・不可算名詞・代 名詞の用法を理解する。	0	0		0	0	【知識及び技能】 英語の名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した名詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	0	0	0	8
	定期考査			0			0		0	0		1
	【知識及び技能】 英語の関係代名詞を理解し、実際に 読んだり書いたり話したりすること ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行 動について相手に伝えられることが できる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識すること ができる。	Lesson4ig Nobel Prize Lesson5 A funny Mistake ・関係代名詞を理解する。	0	0		0	0	【知識及び技能】 英語の関係詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 (思考力、判断力、表現力等】 関係詞を用いて科学について相手に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学の面白さを再認識しようとしている。	0	0	0	8
学				0			0		0	0		1
期	【知識及び技能】 英語の名詞を修飾する分詞・受動態 を理解し、実際に読んだり書いたり 話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞や受動態を使い分けながら自分 の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解 できる。	Lesson 6 Droodle Lesson 7British English and American English ・名詞を修飾する分詞・受動態 を理解する。	0	0	0		0	【知識及び技能】 英語の分詞、受動態を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 (思考力、判断力、表現力等】 分詞、受動態を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における英語の役割を理解しようとしている。	0	0	0	12
	定期考査			0			0		0	0		1
学		Lesson 8 Thanksgiving day and Black Friday Lesson 9 Too kind ? ・不定詞、比較を理解する。	0		0			【知識及び技能】 英語の不定詞、比較を理解し、実際に読ん だり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思い		0	0	
	98			0			0		0	0		1 計 48

多摩工科 高等学校 令和6年度(2学年) 教科 工業 科目 選択チャレンジライセンス

教	科:	工業	科 目:	選択チャレンジライセンス	単位数:	2	単位

対象学年組:第 2 学年 A 組~ B 組

教科担当者: (A組: 沓掛) (B組: 沓掛) (組:) (組:) 使用教科書: (

教科 工業

科目 選択チャレンジライセンス

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
電卓の持つ機能を理解し、適切に数理処理に用	四則、関数、実務が検定合格ラインに達してい	積極的に計算技術検定の問題に取り組むととも
いることができる。	る。	に、早く正確に行う方法を考えている。
三角法を理解できる。	断面図の書き方を理解している。	発展的な問題にも積極的に取り組み、自らの理
化学用語について正しく理解できる。	展開図の書き方を理解している。	解を深めようとしている。
	熱容量・比熱の計算について正しく計算ができ	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	計算技術検定3級	6月実施の計算技術検定に向けて、 四則計算・関数計算・実務計算の過 去問題を中心に指導していく。	【知識・技能】電卓の持つ機能を理解し、適切に数理処理に用いることができる。 【思考・判断・表現】 四則、関数、実務が検定合格ラインに達している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に計算技術検定の問題に取り組むとともに、早く正確に行う方法を考えている。	0	0	0	8
期	定期考査なし			\circ	\circ	\circ	0
	基礎製図検定	立体図から投影図 断面図・展開図などの過去問題を中 心に指導していく。	【知識・技能】 三角法を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・断面図の書き方を理解している。 ・展開図の書き方を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角法を理解し図面作成が出来る。	0	0	0	16
	定期考査なし						
	基礎製図検定	立体図から投影図 断面図・展開図などの過去問題を中 心に指導していく。	【知識・技能】 三角法を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・断面図の書き方を理解している。 ・展開図の書き方を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角法を理解し図面作成が出来る。	0	0	0	6

定期考査なし 応険物取扱者乙種第4類 物理学と科学の基礎知識 熱容量・比熱の計算などの過去問題 化学用語について正しく理解できる。 をパソコンを使用して指導していく 【思考・判断・表現】 熱容量・比熱の計算について正しく計算ができる。 【思考・判断・表現】	2 学期	危険物取扱者乙種第4類	をパソコンを使用して指導していく	【知識・技能】 化学用語について正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 熱容量・比熱の計算について正しく計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを使用し過去問練習を積極的に取り組む事ができる。	0	0	0	6
熱容量・比熱の計算などの過去問題をパソコンを使用して指導していく			物理学と科学の基礎知識	【知識・技能】				
た験物取扱者乙種第4類 物理学と科学の基礎知識 知識・技能 知識・技能 知識・技能 化学用語について正しく理解できる。 【思考・判断・表現 熱容量・比熱の計算について正しく計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度 (主体的に学習に取り組む態度 (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に学習に取りまたを) (主体的に対象を) (主体的的knownを) (主体的的knowne) (主体的的kn			熱容量・比熱の計算などの過去問題 をパソコンを使用して指導していく	化学用語について正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 熱容量・比熱の計算について正しく計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを使用し過去問練習を積極的に取り組む事	0	0	0	14
定期考査なし	3 学期	危険物取扱者乙種第4類	熱容量・比熱の計算などの過去問題 をパソコンを使用して指導していく	化学用語について正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 熱容量・比熱の計算について正しく計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 PCを使用し過去問練習を積極的に取り組む事	0	0	0	14

多摩工科 高等学校 令和6年度(2学年) 教科 工業 科目 選択自動車工学

教科: 工業 科目: 選択自動車工学 単位数: 2 単位

 対象学年組:第 2 学年 A 組~ B 組

 教科担当者:(A組:加藤) (B組:加藤) (組:) (組:)

使用教科書: (自動車工学1・2(実教出版)

教科 工業

科目 選択自動車工学

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	自動車および自動車を構成する各部分の基本的	
	な構造・機能に関する知識・技術に課題等を見	
	つけ出し、自ら思考・判断し、創意工夫して課	-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -
身についている。	題解決する能力が身についている。	に取り組む態度が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	第1章 人と自動車 1節 自動車の発達 2節 自動車を登まし 3節 自動車産業 4節 自動車と社会 5節 自動車と環境	る機械として発達し、大量生産方式 により広く普及し、生活を豊かなも のにしてきたことを理解させる。	現代社会における自動車の役割および自動車の普及にともなう経済性・安全性・環境等にかかわる知識を習得し、グラフや表を読み取り、それらが持つ意味を考え理解し、実際に活用できる能力と態度が身についている。	0	0	0	8
学期	定期考査なし						
	第2章 自動車の原理 1 節 自動車の力学 2 節 動力の発生 3 節 動力の伝達 4 節 自動車の操作のしくみ 5 節 自動車の制動	うに発生させ,利用しているかにつ	【知識・技能】 自動車の概要と力学,自動車用エンジンの働きと動力伝達に関する装置および自動車の操作と制動についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 力と運動,仕事とエネルギー,熱と仕事などこのいて、自ら思考を深め,最適な数正大いについて、自ら思考を深めて別意な数理したがら数値処理を行う能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自動車の概要と力学、自動車用エンジンの働きと制動にで関いる。	0	0	0	10
	定期考査		A P P P P P P P P P P P P P P P P P P P	0	0	0	1
	第3章 自動車用エンジン1節 ガソリンエンジン2節 ディーゼルエンジン3節 その他の原動機4節 エンジンの性能		【知識・技能】 自動車用エンジンの構造・機能・性能および 付属装置としての点火・燃料・潤滑・洗却等 の各装置の構造と働きについて理解とし、関連 がス対策と規制など動車用エンジンの実施とで観察し、実際に活用できる能力と態度 が身についている。 【思考・判断・表現】 自動車用エンジンの性能により 配慮した学習にでいる。 【主体的に学習になり組む態度】 正弦波をが見いて、周期とのに関心をでありに対して、 を深める能力が身にのいて、 を深める能力が身にのいる。 【主体的に学習になり組むを を深めるに対して、 を深め値などに関心をも を深め値などに関心を を取り値などに対しるオームの法則を用いて ようになるよう努める。	0	0	0	8
2	定期考査なし						
学期	第4章 動力伝達装置 1節 クラッチ 2節 トランスミッション 3節 その他の動力伝達装置	エンジンで発生した動力を有効に駆動輪に伝達する動力伝達装置の構造と働きについて、「自動車工学1」の第2章で指導した自動車の原理を導入しながら理解させる。	【知識・技能】 各種の動力伝達装置についての基本的な知識 を身につけ、その動作原理・特徴および動力 伝達経路を理解し、実習などで観察し、実際 に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 動力伝達装置の構造・機能および変速比・減				

		速比などについて,目ら思考を深め,最適な 数理処理を活用し,適切な判断に基づいて創 意工夫しながら数値処理を行う能力をが身に ついている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自動車用エンジンで発生した動力を有効に駆 動輪に伝達する動力伝達装置の構造・作動に ついて関心を持ち,意欲的に探究するととも に,主体的に学習に取り組む態度が身につい ている。	0	0	0	8
	リング,ショックアブソーバ,左右 揺れ止めの種類と働きについて理解 させる。	【知識・技能】 懸架装置,走行装置およびステアリング装置 についての基本的な知識を身につけ,そのし, 作原理・特徴を理解し,と態度が身について観察に 実際に活用できる能力と態度が身についる。 【思考・判断・表現】 自動車に安定した走行をするために必ず 装置の構造・作動・たっいる。 【主体的に学習にないて, を深める能力習に安定したがました。 【主体的に学習になり組む態度】 自動車架装置,作動にとおるために必ず を深めるに学習になりになってが を深めるに学習にないる。 【主体的に学習にないと 要な懸構造・作動にとおいてが を深めるに対した。 はいいる。	0	0 0	0 0	1 10
定期考査			0	0	0	1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度(2学年) 教科 工業(電気) 科目 アプリケーション基礎

教 科: 工業(電気) 科 目: アプリケーション基礎 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 E 組

教科担当者: (E組:岸川) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (

教科 工業(電気) の目標:

【知識及び技能】 電気の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 電気に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けて

【学びに向かうカ、人間性等】 よりよい社会の構築を目指して自ら学び、電気の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 アプリケーション基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
アプリケーションソフトウエアの基本操作を学び、文書作成等、社会で役に立つレベルの技能		自ら積極的に課題に取り組み、工夫を行い、より良い作品づくりができるようになることをめ
習得をめざす。	るようになることをめざす。	ੇਂ ਹ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	領域 書		評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	ガイダンス Microsoft Office Word	Word 書式設定、文字の入力、文章の入 力と訂正、特殊な入力方法、保存 と読み込み、印刷、複写・削除・ 移動、編集機能、ビジュアルな文 書 (情報処理検定4級程度)	0	0	0	(1) 基本的・応用的な操作ができるか (2) 課題への取り組み姿勢 (3) 報告書 (ノート) の提出と内容	0	0	0	8
期	定期考査									0
	Microsoft Office Word	Word 書式設定、文字の入力、文章の入 力と訂正、特殊な入力方法、保存 と計算を表す。 と記録を を動い、 編集機能、ビジュアルな文書 (情報処理検定3級~準2級程度)	0	0	0	(1) 基本的・応用的な操作ができるか (2) 課題への取り組み姿勢 (3) 報告書 (ノート) の提出と内容	0	0	0	12
	定期考査									0

	Microsoft Office Excel	Excel データ入力の基礎、ワークシート の編集、グラフの作成、関数の挿 入、データベース機能、集計 (情報処理検定3級程度)	0	0	0	(1) 基本的・応用的な操作ができるか (2) 課題への取り組み姿勢 (3) 報告書 (ノート) の提出と内容	0	0	0	12
	定期考査									0
2 学期	Microsoft Office PowerPoint	PowerPoint 基本操作 スライドショーの作成 装飾機能、アニメーション機能 作品制作、発表練習				(1) 基本的・応用的な操作ができるか (2) 課題への取り組み姿勢 (3) 報告書 (ノート) の提出と内容				
	定期考查		0	0	0		0	0	0	12
-	選択学習	Adobe Photoshop				(1) 基本的・応用的な操作ができるか				0
3学期		Adobe Illustrator Adobe Aftereffect その他 1項目を選択して基本操作を学び、作品づくりを行う。 Photoshop ツールバーの使い方、機能紹介、パネル、レイヤー、ブラシ、応用 Illustrator オブジェクト、パス、アンカーポイント、ツールバーの使い方、機能紹介、メッシュ、応用 Aftereffect コンポジション、各種レイヤー、アニメーション、フレーム、エフェクト作成、応用	0	0	0	(2) 課題への取り組み姿勢 (3) 報告書 (ノート) の提出と内容	0	0	0	16
1	定期考査									0

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 2年選択 科目 環境法規

教 科: 2年選択 科 目: 環境法規 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 G 組~ 組

教科担当者: (G組:遠藤 (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (3級計算技術検定問題集(全国工業高等学校長協会) 乙種危険物取扱者受験教科書(向)

教科 2年選択 の目標:

【知識及び技能】工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるように思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養【学びに向かう力、人間性等】工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 環境法規 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
危険物取扱者の資格試験等にも対応できるだけ が		
D基礎的な知識、技術を身につけている。計算 i		
支術検定の3級にも対応できる技術を身につけ ┃ ている。エコ検定の学習を通してSDGsの知 ┃=		
	コ快足の子首を通してSDGSを美域できる能力を身につける。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 計算技術検定3級 【知識及び技能】 関類電卓を使い答えの表し方について理解し、説明をすることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 計算技術検定3級の四則・関数・実務の練習問題を8割正解することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復習することが出来る。		【知識・技能】 ①電車の使い方、計算の仕方、答えの表し方について理解できる。 ②四則演算・関数・実務の解法の仕方を理解できる。 ③思書・判断・表現】 ②計算技術検定3級の四則・関数・実務の練習問題を合格するレベルまで正解することができる。【主体的に学習に取り組む態度】 ① 積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする	0	0	0	11
1	定期考査			0	0		1
学期		③実務計算の問題演習 ④検定試験 ・教材 3級計算技術検定問題集	【知識・技能】 ①電卓の使い方、計算の仕方、答えの表し方に ついて理解できる。 ②四則演算・関数・実務の解法の仕方を理解で きる。 ③四別演算・関数・実務の解法の仕方を理解で に思考・判断・表現】 ①計算技術検定3級の四則・関数・実務の練習 問題を合格するレベルまで正解することができる。 ②計算技術検定2級の関数の練習問題を合格するレベルまで正解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 積極的に練習問題に取り組み、発問などで 適切な発言をする。	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
2		③消火に関する基礎知識 ・危険物の性質並びにその火災予防 および消火の方法 ④第四類危険物以外の危険物の概要 ⑤第四類危険物の概要	【知識・技能】 ①危険物取扱者乙種4類の物理学と化学の基礎知識について理解できる。 ②危険物取扱者乙種4類の危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法について理解できる。 【思考・判断・表現】 ①危険物取扱者乙種4類の物理学と化学の基礎知識について練習問題・模試を正解することができる。 ②危険物取扱者乙種4類の危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法について練習問題・模試を正解できる。 【主体的学習に取り組みの方法について練習問題・模試を正解できる。 【主体的学習に取り組む態度】 ①積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	0	0	0	13
学	定期考査	4-17-A-1	[6n 340 ++ 640]	0	0		1
期	D 危険物に関する法令 【知識及び技能】 政本における用語、制度、技術上の 基準について理解し、説明をすることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 危険物取扱者乙種、政今の練習問題 を8割正解することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない 生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復 習することが出来る。	・危険物に関する法令 ①消防法 ②危険物の規制に関する政令 ③危険物の規制に関する規則 ④問題演習 教材 乙種危険物取扱者受験教科書 一人一台端末による問題演習	【知識・技能】 ① 危険物取扱者乙種 4 類の消防法に関する法令について理解できる。 【思考・判断・表現】 ① 危険物取扱者乙種 4 類の消防法に関する法令について練習問題・模試を正解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 積極的に練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1

3 学 期	うのか考え発表することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加して分からない 生徒にも教えることが出来る。 分からない部分、間違えた部分を復 習することが出来る。	・地球を知る ①地球の基礎知識 ②いま地球で起きていること ・環境問題を知る ①地球温暖化と脱炭素社会 ②エネルギー ③生物多様性・自然共生社会 ④地球環境問題 ⑤循環型社会 ⑥地域環境問題 ⑦化学物質 多災害・放射性物質 教材 eco検定公式テキスト ー人一台端末	【知識・技能】 ①環境と経済を両立させた持続可能な社会の推進に向けて、環境に対する幅広い知識を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①環境社会検定試験の練習問題・模試を正解することができる。 【主体的に学習。 ①積極的に環境社会検定試験練習問題に取り組み、発問などで適切な発言をする。	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
							合計
							62